協議事項（3）－2

「成田市立図書館サービス計画」における令和７年度の実績について

○図書館サービス評価の指標

「成田市立図書館サービス計画」では、図書館サービス全体の評価指標として、市民の図書館利用登録率、年間レファレンス[1]処理件数、公開書架冊数に占める新規購入冊数の割合の３つを指標とし、市民への図書館サービスの浸透を評価するものとしています。

令和７年度における実績は、指標２につきましては、目標値に対しまして、83.9%の達成となっています。指標 1、指標 3 につきましては、中間及び最終目標値並びに前年度実績を下回っているため、今後は中間評価の結果を踏まえながら、目標値の達成に向けた取組内容の再検討等を進めてまいります。

指標１：市民の図書館利用登録率

…市民への図書館サービスの浸透を評価する

2019 年度実績値	2020 年度実績値	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2024 年度実績値	2025 年度中間評価実績値	2025 年度中間評価目標値	2030 年度最終評価目標値
27.9%	23.6%	22.3%	24.3%	22.6%	22.4%	22.3%	29.5%	30.8%

指標２：年間レファレンス処理件数（本館、公津の杜分館、成田公民館図書室の合計）

…課題解決支援を評価する

2019 年度実績値	2020 年度実績値	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2024 年度実績値	2025 年度中間評価実績値	2025 年度中間評価目標値	2030 年度最終評価目標値
22,398 件	19,838 件	21,193 件	21,977 件	19,258 件	18,560 件	19,307 件	23,000 件	23,000 件

指標３：公開書架冊数に占める新規購入冊数の割合（本館、公津の杜分館の合計）

…蔵書の鮮度を評価する

2019 年度実績値	2020 年度実績値	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2024 年度実績値	2025 年度中間評価実績値	2025 年度中間評価目標値	2030 年度最終評価目標値
12.6%	11.7%	11.7%	10.7%	9.7%	9.4%	9.0%	13.0%	13.5%

[1] レファレンス：図書館利用者が学習や調査、研究等のために必要な資料及び情報を求めた際に、司書が図書館の資料と機能を活用して検索を支援し、回答の含まれる資料や情報源を提供するサービス。利用者と資料とを結ぶ業務であり、近代図書館の利用サービスの中心になるとされている。

○取組内容の自己評価結果について

「成田市立図書館サービス計画」に基づく令和 7 年度の取組内容の自己評価結果は以下のとおりとなります。

【令和 7 年度 自己評価結果】

判定	A	B	C	D	E	合計
項目数	5	93	12	9	0	119
割合	4.2%	78.1%	10.1%	7.6%	0%	100%

【令和 6 年度 自己評価結果】（参考）

判定	A	B	C	D	E	合計
項目数	4	91	15	7	0	117
割合	3.4%	77.8%	12.8%	6.0%	0%	100%

※判定基準

A:達成基準を満たし、かつ十分な成果がある

B:達成基準を満たしている

C:達成基準を満たしていない、あるいは満たしているが課題がある

D:未実施

E:方向転換

令和 7 年度に「A」又は「B」と判定をした取組は合わせて 98 項目あり、全体の 82.3%で、目標をおおむね達成できたと捉えております。なお、「A」判定とした取組は次の 5 項目です。

・利用促進（1-ウ-①）
・学習スペースの整備（2-(3)-ウ-①）
・学校との連携（2-(3)-カ-①）
・生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携（2-(5)-エ-②）
・相談会の実施（会場・資料提供）（3-(2)-カ-②）

令和 7 年度は、継続して図書館の利用促進や関係機関との連携に取り組みました。さらに、電算システムの 2 次リリースやホームページ管理システムの更新を行うなど、利用者の利便性の向上に努めました。また、図書館サービス計画の中間評価を実施し、取り組みの進捗について分析を行い、今後の方向性や後期重点目標をまとめました。